

お仕事情報

～特別編～



やりがい、厳しさ、そして感動。 介護は人のやさしさに触れる仕事

高齢化社会が進み、ますます注目が集まる介護業界。厳しい仕事というイメージがありますが、介護の現場には人の心根に触れる感動や、自分のスキルが生かせるやりがいがあります。実際に介護の現場で活躍されている二人の介護福祉士の方に日々のお仕事について伺いました。



孝子 綾子さん
(こうし あやこ)

介護福祉士、社会福祉士、介護支援専門員。デイホーム祥雲館すみれにて管理者・生活相談員・リーダーを務める。

主婦の経験を生かして未経験から管理職に

「介護の仕事を選ばれた理由。きっかけを教えてください。」

現在は介護福祉士、社会福祉士、介護支援専門員など複数の資格を持っていますが、もともと3人の子育てに追われる主婦でした。周りにはバリバリと仕事をしている友人が多く、私も社会で働きたいという気持ちが大きくなって。そこで、へ

ルパー2級の資格を取って、軽い気持ちで働き始めました。



お天気のいい日は利用者の方と一緒に外出を楽しむことも。

「育児と介護の仕事を両立するのは大変だったのでは？」

介護という仕事は厳しさがちがいますが、アップされがちですが、実はとてもフレキシブルで女性働きやすいのです。子どもの学校や幼稚園の行事も多かったため、初めは無理なく週1回で時間登録の訪問介護に勤務しました。その後、子どもの成長とともに勤務日数を増やしていきました。勤務時間が明確で、自分の予定を考慮したシフトを組んでもらえたので、子育てと両立しやすかったですね。それに訪問介護の仕事は、主婦の力が生かされます。料理の得意な人、お掃除が得意な人など、自分の得意分野を持ち寄って仕事をしています。



「食事が美味しい」と楽しみに通所する利用者も多いそう。①



毎日楽しく体を動かします。

人の心に寄り添う仕事は感動とやりがいがいっぱい

「介護の仕事でやりがいを感じるのはいったい時ですか？」

現在私は認知症の方を対象としたデイサービスに勤務しているのですが、認知症になるとわからなくなるのではなく、伝え方がわからないだけの事が多いです。話をよく聴き、共感することで、感情や欲求を表現することができるようになります。はじめは警戒心でいっぱいだった人が、心を開いて



季節に沿ったイベントや利用者の誕生日パーティも企画。②

本来の自分らしさを見せてくれた時には何ともいえない感動があります。また、イベントなども自分たちで企画し開催します。みんなが笑顔になった時がいちばん嬉しいです。なんとなく始めた仕事ですが、今ではやりがいを感じ、ステップアップのために色々な資格を取得しました。資格取得を応援する法人も多く、向上心が報われるのもいいですね。介護は子育てや主婦経験を生かせる上、プロとしてのやりがいも感じられる仕事です。ぜひ多くの女性に活躍してほしいと思います。

将来性を感じた介護の仕事、性格的にぴったりの特養へ

「高校卒業後に福祉の専門学校へ進学した理由をお聞かせ下さい。」

同居していた祖母に恩返しをしたかったのがきっかけです。子どもの頃は園芸好きの祖父の庭いじりや畑仕事を手伝っていました。祖母と過ごしたり話したりするのがとても好きでした。また、自分の進路を考えた時、福祉の資格は必ず将来的に自分のプラスになると思いました。福祉の専門学校で2年間みっちり学



沼澤 慎一さん
(ぬまざわ しんいち)

介護福祉士。関西福祉専門学校の介護福祉科を卒業後、平成26年4月より特別養護老人ホームきらばしにて活躍中。

び、介護福祉士の国家資格を取得。卒業後すぐに現在の特別養護老人ホームへ入職しました。



入居者の状態やパーソナリティに最適な介護を日々心掛ける。

「特別養護老人ホームを勤務先に選ばれたのはなぜですか？」

専門学校時代の実習でグループホームや老健などいろいろな福祉施設を体験しましたが、24時間入居者に向き合える特別養護老人ホームが一番自分に合っているなと感じました。周りから「引退してからの時間、一人ひとりに時間をかけてゆっくりコミュニケーション

人間関係の悩みとは無縁、優しいプロが集まる職場

「実際に介護福祉士として勤務し、どういう点に手ごたえを感じていますか？」

先輩は多忙な中でも嫌な顔つせず、真摯になって丁寧にアドバイスをしてくれ、とても助けられました。介護士もナースも栄養士も、老人介護に関わる人はとにかく優しい方が多く、人間



食事介助時に入居者とコミュニケーション。②

私の勤務している特別養護施設は介護認定が3〜5の方々が多いです。約70名の入居者に対して介護福祉士は30名ほど。私が主に担当した入居者の中には認知症やパーキンソン病の方もいます。それぞれに必要な介助のレベルもケアの方法も異なります。ナースや栄養士、ケアマネージャーなどと連絡を取り合いながら仕事を進めています。



勤務先の特別養護老人ホームきらばしには愛用のバイクで出勤。①

入居者の様子や変化をご家族に報告する機会があるので、そういった時に感謝してもらえるのは嬉しいです。業務の中には夜勤や体力が必要な介助もありますが、それを上回る充実感や達成感があります。また、職場の人間関係が良好なのも魅力です。入職したばかりの頃、意思の疎通が難しい嚙下食の方の介助方法が分からずに、先輩におそるおそる質問をしたことがありました。



同僚の介護士やナースなどと気軽に話せるオープンな職場。

関係の悩みとは無縁ですね。現場の私の意見もしっかりと聞いてくれます。介護の一口として自分に誇りを持てる瞬間がたくさんあります。まだ5年目の介護福祉士ですが、将来的にはリーダー的存在になれるよう、知識と経験をしっかりと磨いていきたいです。



年に数回あるイベント時にはEXILEのダンスを披露。

沼澤さんの1日のスケジュール(例)

- 7:00 { 出勤 (写真①) } 夜勤担当者からの引継ぎ事項を確認し、入居者の朝食を準備。
- 8:15 { 食事の介助 (写真②) } 入居者の食事のサポート。食後は歯磨き・排泄の介助なども。
- 10:00 { モーニングティー } 入居者はリビングでコーヒーやお茶を楽しむなど自由時間。その間、必要に応じた介助をしながら見守る。
- 11:00 { 休憩 } 持参した弁当で自分の昼食を済ませ、午後からの勤務に備える。
- 12:00 { 食事の介助 } 入居者の食事のサポート。食後は歯磨き・排泄の介助など。
- 14:00 { アフタヌーンティー } アフタヌーンティーを介助しながら、午後はゆっくりと入居者とのコミュニケーションを楽しむ。
- 16:00 { 退勤 } ※月に数回夜勤シフト(22:00~8:00)や昼シフト(13:00~22:00)もあり。

孝子さんの1日のスケジュール(例)

- 8:00 { 出勤 } 就業開始に備えて8:00~8:15の間に出勤。
- 8:30 { ミーティング } スタッフとその日の予定を確認したあと、書類の仕事や会議の準備を行う。
- 9:15 { 利用者が到着 } 施設の利用者を玄関で出迎え、コートや荷物などを預かる。
- 9:30 { 朝の挨拶 } テーブルを囲んでお茶を飲みながら会話を楽しむ。
- 10:00 { 入浴 } 利用者のバイタルチェックを行った後、入浴のサポート。入浴後は塗り絵や脳トレなど。
- 12:00 { 昼食 (写真①) } 調理専門のスタッフが腕を振るって昼食を利用者とともに。
- 13:00 { 昼寝・リラックスタイム } 利用者は1時間の昼寝タイム。昼寝をしない場合は静かにリラックスタイムを過ごす。
- 14:00 { レクリエーション } カルタやおはじき、坊主めくりなど昔懐かしいゲームで遊ぶ。
- 15:00 { おやつタイム (写真②) } アフタヌーンティーとおしゃべりを楽しむ。誕生日会などちょっとしたイベントも。
- 15:30 { ゲーム・帰りの体操 } 利用者が輪投げやゲームなどでからだを動かし、帰りの体操を行っている間に、一日の連絡帳を準備します。
- 16:45 { 利用者の見送り } お見送り後、施設の掃除や片付けをスタッフ全員で行う。
- 17:30 { 退勤 }